

谷川岳

日本百名山、谷川岳は標高1,963mのトマノ耳と1,977mのオキノ耳の“耳二つ”のことをいい、上越国境沿いに結ぶ谷川連峰の中心的存在にあたります。

日本屈指の岩場で、その特殊な地勢と気象は日本アルプスの3,000m級の高山に匹敵するパノラマを誇ります。

谷川岳という上級登山者向けの山と思われていますが、ロープウェイとリフトを利用すれば比較的楽に登山できることから、子供から中年まで多くの登山者でにぎわいます。山頂からの眺めは東に燧ヶ岳と日光連山、南に赤城山と榛名山、遠くに富士山を望み、西に仙ノ倉山と苗場山が望めます。北に近づくにつれ茂倉岳が目前に迫り、天候が良ければ遠く日本海まで見ることができます。

ご注意

この地図だけで登山することは危険です。登山の際にはより詳細な登山マップを携行してください。

高山植物の宝庫、谷川岳。

春から夏へ可憐に咲き競う高山植物たちの楽園。ニッコウキスゲをはじめジャクナゲ、イワカガミ、ホソバヒナウスユキソウなど美しい花たちが訪れる人を楽しませてくれます。



アズマジャクナゲ(5月～6月)
林内に開花する1.5～3mの低木。山麓から稜線に広く見られる。日本固有種。



シラネアオイ(5月～7月)
草地や林内に開花する多年草。花径6～9cm、1科1属1種の原始植物。



チングルマ(6月～8月)
水湿地に開花する常緑小低木。稚児車(風車)に似ていることこの名が付いた。



ホノバナウスユキソウ(7月～8月)
ミヤマウスユキソウの変種。上越地方特産の蛇紋岩変形植物。1930年谷川岳でも採集された。



ニッコウキスゲ(7月～8月)
草地に開花するユリ科の多年草。朝に開き夕方にしぼり1日花。

凡例	
(コスタイルマーク)	登山コース
---	新幹線(トンネル)
—	その他の鉄道
—	リフト・ゴンドラ
—	関越自動車道
—	一般道

